

誹謗中傷対策について

UUUM株式会社

誹謗中傷および攻撃的投稿対策専門チーム

責任者 竹川 洋志



UUUM専属クリエイターを誹謗中傷等から守るために
2020年6月に「専門チーム」を設置

1. 全体の検討を通じて留意すべきこと
2. 誹謗中傷対策として期待すること
3. 最後に

① 違法・有害情報の中でも、的を絞る必要がある

- ▶ 損害回復が困難なもの
- ▶ 二次的被害の発生が予見されるもの
- ▶ 法的措置を踏めば明らかに削除されるもの

② プラットフォームサービスに限定せずに検討する必要がある

- ▶ 掲示板やまとめサイト等においても同様の課題が存在
- ▶ ニュースサイトを装ったまとめサイト等による、多数のSNS捨てアカウントを利用したSNS上での自サイトへの閲覧誘導も課題

①コンテンツモデレーションの申請窓口の在り方に関して

被害者側が適切な申請を行える環境の整備が必要

以下のような配慮がなされることが望ましい

- ▶ 誰が見てもわかるように、申請窓口を一箇所にまとめる
- ▶ 何を選択・記載すべきか、わかりやすいようにする

②コンテンツモデレーションの申請手続フローに関して

被害者側が適切な申請を行える環境の整備が必要

- ▶ 必要な事実を十分に説明できない形式上の課題を解決する
- ▶ 複数の権利侵害がなされている場合に、複眼的に判断される
申請窓口を設ける

③コンテンツモデレーションの申請手続後のフォローに関して

申請を行った後の被害者への配慮が一定程度必要

- ▶ 申請等の受付に関する通知を必ず行われる
- ▶ 可能な範囲で、標準処理期間が示される
- ▶ コンテンツモデレーションが実施されたときの被害者に対する二次的被害への配慮がなされる

- ① 悪質な違法・有害情報から優先して対処・検討すべきである
- ② 環境の整備や被害者側への配慮が一定程度必要である
- ③ プラットフォーム事業者の理解のみならず、インターネットの利用者に向けた注意喚起や意識啓蒙等の情報発信も重要になるため、行政を主体として、インターネット上の違法・有害情報による被害の全体数を減らすことにも積極的に取り組んでいくべきである